

3年 修学旅行

奈良・京都から天城へ

3A 齋藤 美優

私たち三年生は、三日間奈良・京都で過ごしました。すると、天城との違いが見えてきました。

まず、奈良・京都にはたくさんのお観光客が訪れるのに、ゴミが落ちていませんでした。また、コンビニの色も異なり、電柱の数も少なかったです。これらは全部、景観を守るための工夫でした。また、あらゆるところにお土産が売っていて、見ているだけで楽しい気持ちになりました。主には、寺社の前の参道や駅などで売られていました。売っているものは、食べ物から置物、Tシャツと、幅広く売られていました。

二日目に「智積院会館」に泊まりました。ここでは、朝のおつとめに参加させていただきました。たくさんのお坊さんがいてすごいエネルギーがありました。また、朝食、夕食共に精進料理という普段はできない貴重な体験でした。天城にも良いところがたくさんあります。それを活かすために、天城でしか出来ない

こともあります。それらを天城の発展に繋げていきたいと思えます。

京都の魅力

3B 山本 空

私は「観光」というテーマをもち、京都・奈良を訪れました。

京都・奈良には歴史的建造物がたくさんありました。最初はつまらないだろうと思っ

ていましたが、各場所です話を聞いていくうちに面白くなり、魅力に気がつきました。「観光」という視点を持ち、周っている様々なことに気がつきました。まずは外国人が多いということです。どこへ行っても多くの外国人がいました。なぜ外国人が多いのか、それは日本らしさを求め訪れてくるからです。京都には建造物やお土産などの日本らしさがあるものがたくさんあることに気がつきました。また、伊豆とは違うところがあります。それは街並みや設備などです。どこへ行ってもきれいな景色があり、もう一度訪れたいと思いました。

修学旅行で様々な発見をし、京都・奈良の魅力も気づくことができました。伊豆にもたくさん

の魅力を活かせるように、京都・奈良で学んだことを参考に考えていきたいです。

2年 自然体験 防災学習

一つ一つの景色

2A 飯田 麻裕

二年になって初めての二日間の天城学習、一日目は自然体験で皮子平に行きました。

皮子平に行って、まず最初に、見渡す限り木々が生い茂っているということに驚きました。登っている最中、周囲には学校の近くでは見えないような植物がたくさんありました。ですが、鹿の食害が見るからに分かる場所もありました。

二日目は防災学習で講座を聞きました。私の中で災害時に一番役に立つと思った講座は、怪我をした際の応急処置の講座です。止血方法や搬送方法の仕方などを教わりました。私の中で一番驚いたことは、意外と身近なもので応急処置が出来るということです。止血をするときや骨折した時の対応は、三角巾や割り箸などのもので、搬送のときは毛布や竿などで担架が作れることが分かりました。

この二日間を通して、私は、自分たち中学生が天城の自然のため、地域防災のために出来ることは何かという事を考えていきたいと思いました。

1年 福祉体験

福祉体験を終えて

1A 浅田 莉音

私は、田方ゆめワークという福祉施設に行きました。田方ゆめワークは主に、精神的な障がいをもった方が仕事をしている場所です。

一日目は、普段利用者の方ややっている料理、軽作業の仕事を体験しました。料理をしていた利用者の方はとても笑顔で楽しそうに作っていたのが印象的でした。

二日目では、パン作り体験をしました。自分たちの好きなパンを作りました。とてもおいしかったです。私たちが歌、紙芝居の出し物をやるときには利用者さんの方が一緒に歌って楽しんでくれたのでうれしかったです。そのお礼にマジックを披露してくださいました。ここにいる利用者の方は、わたしたちの生活となら変わらなず、みんな笑顔で生活していることがわかりました。この

体験を通して、障がい者との接し方や、この施設の重要さを学ぶことができました。

本当の助けとは

1B 青木 紗璃

「ありがとう」この言葉は人を温かくします。私たちは福祉体験で二日間伊豆慶友病院に行きました。そこで、私たちはお風呂やお食事など高齢者の普段の生活を体験させていただきました。高齢者と接する前に、注意点を聞きました。その中に、今回の福祉体験で最も印象深いことがあります。それは、全てを手伝うのではなく、高齢者の方ができないことをサポートするということです。それを聞いた時、自分の普段の生活が思い浮かびました。私は、人助けをするときに、全てをサポートしようというつもを考えていたからです。この注意点をしっかりと頭に入れて、体験を行いました。困っている人に声をかけました。「ありがとう。」と言っていたとき、私はとても心が温かくなりました。なので、これから家族や友達、高齢者の方々をサポートしていきたいです。そして、心が温かくなる人が増えてほしいなと思います。